



日本環境衛生センター 隔月広報紙

JESC-INFO

2026年

8 月号



本内容に関する問合せ先：

一般財団法人 日本環境衛生センター 管理部広報課

TEL: 044-288-5095, Email: koho@jesc.or.jp

第6回 2050CNに向けたごみ処理システムのあり方研究会

6月25日、同研究会をAP虎ノ門及びオンラインで開催。「佐賀市におけるごみ処理の脱炭素化」(佐賀市)、「CO₂分離回収技術と郡山市における取組」(川崎重工業)の講演が行われ、ごみ処理施設の脱炭素化に関する先進的な事例を共有いただきました。

また、事務局から「発電付き小規模施設」及び「容量市場・非化石価値取引」に関するアンケートについて説明し、今後の施設整備やエネルギー活用のあり方について活発な意見交換が行われました。今後も持続可能なごみ処理システムの実現に向け、検討を進めます。

●研究会背景

当センターでは、2014年度から「今後のごみ発電のあり方研究会」を設置し、ごみ発電による電力供給事業や地域の低炭素化への貢献のあり方について検討を行ってきました。

近年、ごみ発電の普及が進むとともに、廃棄物処理に求められる役割も、プラスチック資源化をはじめとする資源循環や脱炭素化への対応へと広がっています。こうした状況を踏まえ、一昨年に研究会を表題の研究会へ改組し、2050年カーボンニュートラルの実現を見据えた持続可能なごみ処理システムのあり方について検討を続けています。

- 前身の「今後のごみ発電のあり方研究会」について、HPで詳細を掲載しています。
こちらから → <https://www.jesc.or.jp/activity/tabid/409/Default.aspx>

資源循環分野における外国人材受入れ支援サイトを開設



当センターは、環境省の【令和8年度資源循環分野における外国人材受入れ支援等業務】を受託し、その一環として6月30日に<資源循環分野 外国人材受入れ支援サイト>を開設しました。

本サイトは、資源循環分野における特定技能制度および育成就労制度に関する専用情報サイトです。制度の概要や手続き、関連情報などを分かりやすく提供することで、外国人材の受入れを検討する事業者の皆様や就労を希望する外国人の皆様を支援します。

また、本サイト内に相談窓口を開設し、事業者の皆様からの相談受付を開始しました。なお、就労を希望する外国人の皆様からの相談受付についても、近日中の開始に向けて準備を進めています。

- 詳しくはこちら → <https://www.s-frc.jp/>
- 問い合わせ：当センター サステナブル社会推進部 TEL: 044-578-1920

国際協力・環境保全に関する取り組みを推進中！

JICA草の根技術協力事業 クロージングミーティングを実施

5月30日～6月6日、西日本支局では、「JICA草の根技術協力事業「ベトナム国トゥアティエン・フエ省における廃棄物処理工程構築支援」の最終現地派遣を実施し、6月4日、関係者一同によるクロージングミーティングを開催しました。

小機支局長、宮原課長及び永岡係長が現地を訪問し、カウンターパート機関との成果確認や今後の展望について協議を行いました。

なお、フエへの技術支援は2017年より開始し（当初福岡県より受託）本年度で事業完了となります。足掛け9年の大事業の支援となりました。



フエ市の皆さんと当センター職員。長年にわたる取り組みに、チームへの思いもひとしおです

東南アジアの環境課題に対する将来的な協力を推進する戦略対話

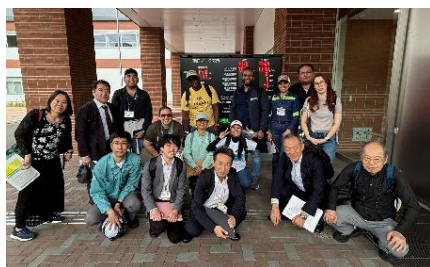
5月27日・28日、ACAP主催の同対話を川崎市で開催。環境省、UNEP、UNDP、ADB、JICA、研究機関など国内外の関係機関から45名が参加し、大気汚染や廃棄物管理、環境ガバナンスに関する将来的な協力の方向性について意見交換を行いました。

本対話は、EANET設立25周年を契機として実施したもので、関係機関との相互理解を深めるとともに、今後の共同プロジェクトの形成に向けた具体的な協力分野を共有しました。併せて、川崎市環境総合研究所等の視察も行い、日本の環境技術や研究体制への理解を深めました。 ●詳しい内容はこちら → <https://www.acap.asia/5459/>

JICA研修「固形廃棄物管理の基礎(A)」を実施

5月20日～6月24日、国際事業部では、JICA北海道において同研修を実施しました。

研修には、ボリビア、コスタリカ、キューバなど中南米9か国から10名が参加し、日本の廃棄物管理制度や資源循環の取り組みについて学びました。



にいがた市民環境フェアに出展

6月27日、ACAPは、市民の環境保全意識の向上と環境に配慮した行動の促進を目的とする「にいがた市民環境フェア」へ、昨年に続き2回目の出展をしました。当日は、酸性雨やPM2.5などの大気環境問題についてパネル展示や説明を行うとともに、ACAPの活動や東アジア地域における環境協力の取組を紹介しました。多くの来場者にブースへお立ち寄りいただき、環境保全や大気汚染対策への理解を深めていただく機会となりました。

国際共同ワークショップをオンライン開催

6月12日、ACAPはEANET及びJICA SATREPSとの共同により、「PM2.5発生源情報に基づく大気汚染政策に関する合同ワークショップ」をオンラインで開催しました。ワークショップでは、東アジアにおけるPM2.5のモニタリングや発生源解析の成果を共有するとともに、科学的知見の政策活用や能力強化に向けた意見交換が行われました。

フェローシッププログラムを実施予定

7月27日～8月21日、ACAPでEANET参加国から3名の研究フェローを受け入れる予定です。本プログラムを通じてEANETの将来を支える人材の育成を支援します。

- 当センターの国際協力活動についてはこちら
<https://www.jesc.or.jp/activity/tabid/104/Default.aspx>
- ACAP（アジア大気汚染研究センター）についてはこちら
<https://www.acap.asia/>

英文ニュースレター
「JESC NEWS」も掲載中！
<https://www.jesc.or.jp/activity/tabid/105/Default.aspx>

環境衛生を支える人材育成の取り組み



第44期ペストコントロール技術者養成講座（スクーリング）

5月26日～29日に同講座を実施しました。本講座は、当センターと日本ペストコントロール協会が実施する技術者養成事業の一環として開催され、ねずみや衛生害虫の防除に関する専門知識と実践技術の向上を目的としています。受講者は、昆虫の同定や防除技術、殺虫効力試験などの実習を通じて理解を深めました。

目黒区害虫対策講習会

5月28日、目黒区総合庁舎で開催された害虫対策講習会へ講師を派遣しました。講習会では、衣類や食品に被害をもたらす害虫の特徴や発生要因、防除方法について解説しました。近年、住環境や食品保管環境における害虫対策への関心が高まる中、正しい知識の普及と被害防止に向けた情報提供を行いました。

令和8年度 東京都健康安全研究センター環境保健衛生講習会

6月10日、都民向けに「蚊の生態と防除 ～蚊の基礎知識と身近でできる対策～」をテーマに当センター橋本部長が講演を行いました。講演では、蚊が媒介する感染症や蚊の発生しやすい環境について解説するとともに、家庭や地域で実践できる防除対策について紹介しました。参加者は熱心に聴講し、蚊対策への関心の高さがうかがえました。



当センターでは生活環境における有害生物を制御し、快適な生活を創造するお手伝いをしています！

生活環境の害虫獣に関する調査研究及び害虫相談、殺虫・殺鼠剤及び防虫・防鼠機器等の効力・性能評価試験、ダニアレルゲン測定、水生生物（昆虫）調査などを行っています。

<https://www.jesc.or.jp/activity/tabid/101/Default.aspx>

第40回ペストロジ－実習講座

6月10日～12日に同講座を開催。企業や自治体から27名が参加し、衛生害虫の採集方法や同定法、殺虫試験法、ダニ調査法などを実習形式で学びました。また、近年定着が懸念されるヒアリをはじめとした外来アリ類についても取り上げ、現場対応に役立つ知識と技術の習得を図りました。

熱帯野鼠対策委員会

7月7日、東京都港区のアジア会館で開催された同会に当センター皆川次長が委員として参加しました。本会は、開発途上国における農作物被害や感染症媒介などの野鼠問題への対応を目的として活動しており、総会では野鼠を巡る最新の動向や課題について関係者間で情報共有が行われました。

住まいと健康研修

7月8日、国立保健医療科学院主催の同研修において、橋本部長が全国自治体の環境衛生担当者を対象に「ねずみ・衛生害虫の被害とその対策」をテーマに講義を行いました。ねずみや衛生害虫による健康被害や生活環境への影響について解説するとともに、発生予防や効果的な防除対策について紹介しました。

第15回保健所環境衛生監視員講座

7月15日、同講座を開催しました。本講座は、保健所で環境衛生行政に携わる職員の育成と研鑽を目的として実施しています。今回は「最近のサウナ事情と構造設備・衛生」「トコジラミに関する最近の話題」「犬猫等対策事業・多頭飼育対策事業」「理美容の衛生監視」を取り上げ、業務に役立つ最新情報の共有と意見交換を行いました。

●環境衛生事業に関する問い合わせ：環境生物・住環境部 [TEL:044-288-4878](tel:044-288-4878)

お知らせ

\\ 第一弾配信中 //



新たなウェビナーシリーズをスタート！

— 隔月配信・視聴無料 —

JESCの専門知識と実務経験を広く発信する新たな企画「**専門性×運用のなるほど実務ウェビナー**」を、7月より開始しました。本シリーズは、国や専門家による制度・政策の解説と、JESCが培ってきた現場での運用ノウハウを組み合わせ、自治体職員をはじめとする関係者に実務に役立つ情報を提供するものです。＊収録は1時間程度

第1回は環境科学部より、「**微小粒子状物質・光化学オキシダント対策ワーキングプランに基づく環境省の取組について**」をテーマに、環境省担当官による最新施策の解説のほか、当センターからも光化学オキシダント及びPM2.5の環境基準改正に関する話題提供を行っています。

●視聴登録はこちら → <https://forms.cloud.microsoft/r/6qkwTpE6wB>

第70回 生活と環境全国大会について

10月21日(水)・22日(木)にソニックシティ（埼玉県さいたま市）で開催予定の同大会は、8月下旬より下記サイトにて参加登録を開始します。本大会は、環境保全、廃棄物・資源循環、生活衛生分野に携わる行政、事業者、研究機関等の関係者が一堂に会し、情報共有や交流を図る全国規模の大会です。大会では、公開講座や最新技術に関するセミナー、事例研究発表会などが予定されています。

●大会ページはこちら <https://www.jesc.or.jp/training/tabid/141/Default.aspx>

「月刊浄化槽」でし尿処理関連連載を執筆中！

日本環境整備教育センター発行の「月刊浄化槽」において、東日本支局環境工学第二部と西日本支局環境事業部が講座「し尿処理施設概論」を共同で執筆しています。令和8年5月号から令和9年4月号まで全12回にわたり掲載予定です。し尿処理施設の役割や処理技術、施設計画・運営管理等について体系的に紹介しています。

●月刊浄化槽について → <https://www.jeces.or.jp/pages/64/>

＊日本環境整備教育センター様HPより



JESCの採用情報（新卒及び中途採用）について — 随時更新中 —

当センターの採用情報は、下記ページよりご覧いただけます。募集職種や仕事内容などの最新情報を掲載していますので、ご関心のある方はぜひご確認ください。

●採用情報ははこちら → <https://www.jesc.or.jp/about/tabid/77/Default.aspx>

報告

光化学オキシダント対策に関する報告書を公開

環境科学部が受託した「令和6年度光化学オキシダント等総合対策推進業務」の成果として作成した「光化学オキシダント等総合対策推進検討会 報告書」が、環境省ホームページで公開されました。本報告書では、光化学オキシダントの実態把握や発生要因の分析、将来の削減シナリオの検討結果などが取りまとめられています。

●報告書はこちら → <https://www.env.go.jp/content/000405884.pdf>

